

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 16 日

事務事業名		社会教育指導員設置事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020302000627
総合計画の施策名		0203 青少年の健全育成				単独/補助	単独	所属課	090601 生涯学習課
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名	
	施策名	03	青少年の健全育成					グループ	生涯学習G
	手段名	02	②家庭教育の充実					担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		
法令根拠		桜川市社会教育指導員設置に関する規則				単年度繰返し (昭和50 年度～)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>社会教育指導員は、社会教育の特定分野について、直接指導、学習相談または社会教育関係団体の育成等に当たる。 生涯学習課で開設する各種学級の企画運営にあたる。 (シニアスクール・女性学級・家庭教育学級・わくわくチャレンジ・訪問型家庭教育支援事業・地域学校協働活動本部設置事業)</p> <p>公民館講座の内容についての助言、指導も考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種学級の運営に関する連絡調整 報酬、費用弁償の支払い (毎月21日支払) 職員手当等の支払い (年2回6月・12月) 社会教育指導員の出勤管理 (週3日勤務) 会計年度任用職員採用に関する手続き

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
定数 8名以内 (現在5名) 任期 1年 (再任可能)	育成指導が図られた人員数	人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	桜川市人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
各種社会教育団体の育成、社会教育事業の推進、家庭教育の推進が図られる	月に数回以上何らかの学習活動している市民の割合	%	21.30	11.90	29.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
			国庫支出金	0	0	0			
			県支出金	0	0	0			
			地方債	0	0	0			
			使用料・手数料	0	0	0			
			その他	0	0	0			
			一般財源	6,691	7,586	8,634			
			事業費計 (A)	6,691	7,586	8,634			
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	5,546		01 報酬	6,227	
	03 職員手当等	1,894		03 職員手当等	2,227	
	08 旅費	146		08 旅費	180	
	合計	7,586		合計	8,634	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 各種学級の運営に関する連絡調整 報酬、費用弁償の支払い 職員手当等の支払い 社会教育指導員の出勤管理 (週3日勤務) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種学級の運営に関する連絡調整 報酬、費用弁償の支払い 職員手当等の支払い 社会教育指導員の出勤管理 (週3日勤務) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種学級の運営に関する連絡調整 報酬、費用弁償の支払い 職員手当等の支払い 社会教育指導員の出勤管理 (週3日勤務)

* 云訂年度任用職員採用に関する手続		* 云訂年度任用職員採用に関する手続		* 云訂年度任用職員採用に関する手続	
事務事業名	社会教育指導員設置事業	事務事業No.	20302000627	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和50年代頃から社会教育指導員設置が始まった。桜川市でも社会教育の振興のため指導員を設置している。 少子高齢化、国際化、情報化が進み、教育を取り巻く環境が急激に変化した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各種事業の振興のために設置要望がある。特に、家庭教育学級における講話の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興に結び付いている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 社会教育指導員を中心に各種学級の企画運営を行い、学級の対象者に学習の機会を与えられるため妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 地域課題に合わせた学習の場を設け、さらなる学習の機会を市民に提供することが必要である。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興等に影響がある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため統廃合は難しい。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種学級の企画立案をしているため、これ以上の削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興等に取り組んでいるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	シニアスクール、家庭教育学級、わくわくチャレンジ、女性学級では、社会教育指導員を中心に企画運営し、地域住民に各種学級の機会を提供できた。 さらに、近年始まった訪問型家庭教育支援事業や地域学校協働活動にも本格的に携わってもらい、活動の機会が増えている。 今後も必要なところに適切な助言、指導が行えるようにしたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 社会教育指導員が携わる事業が年々増えているが、社会教育の専門である指導員がどのようにして事業に係るかを検討することは事業を改善することや効率的に遂行することに繋がると考えられる。 しかし、指導員の負担が増えてしまう可能性もあるため、どこまで業務を割り振るか慎重に協議する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認